

## 2023年度 学校評価 ③ コメント欄 <<子ども編>>

1	<b>お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。</b>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも丁寧に見ていただき、対応も丁寧でありたいです。娘は自主性が弱いので算数の宿題をもう少し出して頂けるとこちらも理解度が把握できて助かります。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年は、基本的には全員が同じ内容・量の宿題を設定しています。全員が無理なくできること、宿題により家庭学習の習慣づけをすることを目的としているからです。個別に最適な量は違いがあると思います。個別に量を多くしたい場合などは、家庭でやっていただくか、担任にご相談ください。</li> </ul>
2	<b>お子様は、家庭での学習習慣が身に付いている。</b>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から帰るとすぐに宿題に取り組み、お休みの日もドリルや勉強をすすんでやっています。</li> <li>・いつも丁寧に見ていただきありがとうございます</li> <li>・ようやく自主学習が身につけてきたように感じますが、内容がたりなくこれでいいのかな？と思うこともあります。</li> <li>・毎日帰宅後すぐに宿題に取り組み、先生方のお陰で勉強が好きみたいです。感謝いたします。</li> <li>・公文で算数と国語をやっています。親子で一緒に計算問題を解いています。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく無理なく学習に取り組めることが一番です。内容や量は、個人差があると思いますので、お子様の様子を見て、工夫していただけたらと思います。</li> </ul>
3	<b>お子様は、読書に親しんでいる。</b>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今、活字離れが急速に進み、本を読む、新聞を読むという習慣は日々失われつつある。会社の若い世代でも文章能力が極めて低い者が目立つ。SNSなど、情報収集やコメント発信には特化しているのだが、時代の流れというものか・・・読書は創造力、読解力、文章能力などを育む大切な習慣であると思う。パソコンを使った指導も必要な世の中だが、もっとも読書にも重点を置いていただきたい。</li> <li>・読書は同じ本を読んで、色々な本を読むことはできていないので、もっと活字を読んでほしいと思っています。学校の図書館でもいつも同じ動物の本を借りてきているので、たまには他の本もというのが親心です。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～3年生は、1週間に1回は図書室で読み聞かせ、本の返却・貸出、そして一人静かに読書という時間を確保しています。ブックトークなども行っていますし、貸出カードに借りた本を記録していますので、さまざまな本を読むように支援していきます。</li> </ul>
4	<b>お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。</b>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年から英語学習取り組みにもっと力を入れて頂きたいです。</li> <li>・先日の英語の公開授業がとても良かったです。先生が良い雰囲気を作られていて、生徒も楽しく学んでいる様子が伺えました。間違えても、発音が悪くても、文法が違ってても、英語はコミュニケーションツールなんだからどんどん使おう！という方針が（小学生には）良いと思いました。</li> <li>・家では全く英語の勉強はやっておらず、どのような内容をやっているかも分かりません。来年からは英語の授業数も増える？と思うので心配です。</li> <li>・最近、学校の英語の授業の後に「英語を習ってみたい」と言い出しました。英語の楽しさやもっと話せるようになりたいと感じたようです。嬉しく感じます。いい影響を頂いています。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動は、年間授業時数が決まっています。1・2年生は6時間、3・4年生は35時間、5・6年生は70時間です。半分以上はALTが入ってネイティブの発音に触れる授業となっています。</li> </ul>
5	<b>お子様は、ICTを積極的に活用している。</b>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年でキーボードが使えないのが原因かもしれませんが、クロームブックの性能やナビマの使い勝手については改善していただいた方が良いように感じています。また家でWiFiに繋ぐのが自動接続の設定にできないため、毎回手で接続するのが不便に感じました。</li> <li>・家では日常的にパソコンを使わせることはありませんが、クロムブックでタイピングの練習をしていると聞いて、驚きました。知らない間に色々な技を習得しているようです。</li> <li>・勇者タイピングが出来なくなってしまったことが少し残念でした</li> <li>・クロムブックの持ち帰り頻度を上げて欲しい。</li> <li>・学習に積極的に取り入れることは大変よいと思う</li> <li>・2学期にはピオトープについてを自分で調べ、それをスライドショーにまとめていました。冬休みに見せてくれたのですが、「3年生でこんなに出来るんだな。」と感心しました。家庭では一切教えていないので学校でのご指導の力だと思います。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援ソフトは、4月から新しいものに変更になります。使い勝手につきましては、また、ご意見をください。</li> <li>・ローマ字の学習と同時にタイピング練習が始まります。ローマ字入力ができるようになると、できることが広がり、授業でも活用頻度が高まっていきます。中学年でよく使うアプリの使い方を習得し、高学年では自由に使いこなすことを目標に指導しています。</li> <li>・クロームブックは、本人の希望で持ち帰ることができます。担任にお知らせください。低学年はクロームブックが重いので、毎日のように持ち歩くのは厳しいかと思えます。</li> </ul>
6	<b>お子様は、日常的に運動やスポーツに積極的に取り組んでいる。</b>

保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツは、決して得意ではない彼が大縄跳びを、クラスメイトと一緒に取り組む様子を話してくれていました。自分自身の気持ちや、お友達とのやりとりなど前向きな姿に嬉しく思いました。家でも練習していました。家庭でも支えていけたらと思います。</li> <li>・地域の野球教室に入会し、野球を楽しんでいます。監督やコーチに指導いただき、挨拶等のスポーツ精神も学べると思うので続けられたらいいなと思っています。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意なことをさらに高める、得意ではないけれどやってみる、どちらも大切です。運動は、体のためにももちろんよいのですが、情緒にも影響すると言われています。特に子どものときの筋力・体力づくり、運動習慣は生涯にわたっての土台作りとも言えますので、体を動かすことは気持ちの良いものという経験を積めるとよいと思います。</li> </ul>
7	<p><b>お子様は、自分の力を発揮し、楽しい学校生活を過ごしている。</b></p>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で誰かが怒られた、という報告が多いです。そのせいか、自分の頭で考えて判断するよりも、決められたこと、先生に言われたことを守ることを、必要以上に気にしているくらいがあります。集団生活の中でルールを守ることはもちろん大事ですが、クリエイティブな考えも肯定してもらえる環境を期待しています。</li> <li>・担任の先生が好きで、楽しく伸び伸び生活しているようです。何事も前向きに取り組んでいる姿があります。</li> <li>・様々な係活動をする中で、役割に対する責任や、みんなのためになることを考えて行動するということを学べていて、それを、本人も楽しくやっている様子がみられます。学年が上がるにつれ、さらに役割の広がりや、チャレンジングなことにも積極的に挑戦させていただけると、こどもも嬉しいと思いますし、さらに成長してくれるのではないかと期待をしております。</li> <li>・地域の様々な方々とも、多様な課外活動を通じて関わっていき、学校を中心としながらも、より地域や社会に広く目を向けてもらい、社会の中で、自分が何ができるのか、何をしたいのか、というより大きな視点を、こどもにだんだん見つけていってもらえるといいなと思っています。これからも、地域社会との多様な関わりの場を設けていただけますと嬉しいです。</li> <li>・毎日楽しく登校しています。学校の準備も楽しそうにしているので嬉しく感じます。学校公開などで参観させて頂きましたが、自分らしく先生や友達とも過ごしている様子で安心しています。</li> </ul>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活等が得意でないところも見受けられるのですが、先生方が熱心に見てくださって、本当に成長したと思います。様々乗り越えなくてはならない課題は見受けられるのですが、本人の頑張りも見えますので、より一層成長を期待しています。先生方には感謝です。</li> <li>・代表委員としての、運動会での司会、また、3学期の始業式での発表等、活躍できる場を提供して頂き、どうもありがとうございます。本人も張り切っている様子が見られます。引き続きご指導、宜しくお願い致します。</li> <li>・毎日楽しく元気に登校していることを嬉しく思います。また色々な人と関わり合いながら、成長しているのを感じます。担任の先生や学校には大変感謝しております。</li> <li>・息子は勉強は座って学習する勉強は好きでは無いのですが、様々な学校の活動を通して、楽しさや好奇心、探究心、やりがい等も感じてモチベーションを維持しながら学校生活を送っているのを感じます。アグリハウスの活動や真光寺川の活動などでは家庭に持ち帰り、自らまたアグリハウスや真光寺川に足を運んで学習を生活を活かしていました。学校で学んだ事を日常生活に活かしている姿が見られる事は親としても嬉しく感じます。成長するにあたり、やはり友達の存在が学校生活にも日常生活にもとても重要になってきます。友達と支え合いながら学校生活を楽しくて欲しいと願っています。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の力を発揮できていると感じることは、自尊感情に直結します。「自分を大切にする みんなを大切にする」は、鶴二小の教育目標ですが、自尊感情が育って初めて他者のことに思いが至るのだと思います。これからも「自分の力を発揮できた」と子どもが感じることができると学校生活を作っていくたいです。</li> </ul>
8	<p><b>お子様は、あいさつをきちんとしている。</b></p>
保護者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人やお友達にしっかり挨拶ができます。</li> <li>・学校生活のお陰で挨拶もしっかりできています。</li> </ul>
学校からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、子どもたちはとても上手です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」はもちろん、「よいお年を」とか「お大事に」のあいさつもできます。素晴らしいです。</li> </ul>
9	<p><b>お子様は、社会や学校のルールを守っている。</b></p>

保護者コメント	<p>・朝は教室にすぐ入れない等、親がよくわかっていない学校内のルールがあるようです。子どもの理解ではこうであるが、実は間違っていることがありそうで心配なこともあります。（この時間だと早すぎる。この時間で遅刻しないから大丈夫など、本人が言うままになっています。）一度、文章などで保護者にもわかるように提示していただければと思います。</p> <p>・次男だからか、ルールの抜け穴を突いて立ち回るのが上手く、良く言えば大胆な発想力が素晴らしい、となるのですが、度が過ぎると共同生活をする上でのマナー違反につながるので匙加減が難しいところです。あまり周りに気を使わずに自分を押し殺しすぎると良くないので、常識や前例、ルールの表層的な面にとらわれず本質をとらえる柔軟さを保ちつつ、その力を周りの人々にも役立てられれば良いと思います。</p> <p>・子どもから聞いた話なのでどこまで正しいのか分かりませんが、飼育委員の先生がウサギを柵の外に出し、逃げないように捕まえながら低学年の子ども達に触らせていたことがあったようです。6年生の飼育委員はそのことに対し、「ウサギは柵の外に出してはいけない」という鶴ニールルがあり、六年間受け継ぎ、守ってきたことを先生に伝えたようですが、「先生は前の学校でもこうやって外に出してやって来たから大丈夫」と言うような返答だったそう。娘は飼育委員ではありませんが、小さい子たちがウサギに触りたい触れさせてあげたい気持ちはわかるけど、私達は六年間言うルールを引き継ぎ、やっと高学年になってお世話ができていたのに、先生だから大丈夫と言うのは納得がいかないということでした。先生にしてみれば大したことのないことなのかもしれませんが、鶴ニールル、鶴ニプライドを持って委員会などに参加している6年生に対してはもう少し向きあい、納得する返答をしてほしいと思いました。</p>
学校からのコメント	<p>・朝、昇降口までは入れますが、教室に入れる時刻は8時と決まっています。教員の出勤時間から対応可能な時刻を設定しています。</p> <p>・学校のルールについては、4月の保護者会でご説明、または tetoru で文書配信したいと思います。あいまいな点は、お問い合わせください。</p> <p>・ルールを守っている人が不快な思いや残念な思いをすることはまちがっています。ウサギの扱いについては、飼育委員会できちんと話し合い、統一していきたいと思います。もちろん、教師もです。</p>
10	<p><b>お子様は、食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。</b></p>
保護者コメント	<p>・給食をととても楽しみに登校しています。美味しいのはもちろん、バリエーション豊かなメニューで家庭では味わう事の無い味を味わえることも有難いと思っています。アレルギーなどにもご配慮頂き、また地産地消にも努力されていると知り、学校給食を運営する上での皆さんのご尽力に感謝しています。</p> <p>・給食メニューが工夫されていて、毎日楽しみにしています。美味しかった！面白いメニューだった！と毎回嬉しそうです。</p>
学校からのコメント	<p>・今年度は異学年と一緒に給食を食べるスペシャル給食があり、ランチルームで他学年と向かい合って楽しみました。</p> <p>・年度末にはリクエストの上位が献立に取り入れられるリクエスト給食があり、みんな楽しみにしています。</p>
11	<p><b>お子様は、パソコン、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。</b></p>
保護者コメント	<p>・まだ知らない部分も多いです。依存しないように気をつけてあげたいです。</p> <p>・どのご家庭もだと思いますが、クログブックの見守りに困っています。長時間使ってしまうことや、学習のみと言ってもどこまで良いものなのか、見守りも難しく感じています。</p> <p>・ナビマですが、うまくいかないと訴えることも多く、一緒に取り組んでも思うようにいかないところがあり、毎日取り組んでいるものなので、改善してくれるとよいなと思っております。</p> <p>・家で携帯ゲームやYouTubeを見る人が多いです。息抜きなので、あまり時間制限はしていません。</p>
学校からのコメント	<p>・ネットマナーは、知識としての学習がまず大事です。5年生でデジタルリテラシーを学ぶ機会を作っていますが、他の学年でも発達段階に合わせた学習を行っていきます。</p>
12	<p><b>その他</b></p>
保護者コメント	<p>・さまざまな体験や見聞きたことから感じたことを、自分の気づきに高めることが大事になってくると考えていますが、学校でもたくさんのことを感じて気づきを得ているようで、先生方のご指導のおかげと思っています。いつもありがとうございます。</p> <p>・合唱部顧問の高圧的な態度に恐怖心を抱き練習に行けなくなりました。楽しみにしていたのに残念でした。</p> <p>・自分からやるべき事をやるようになるべきですが、まだ出来ないこともあります。そんな時に先生からの指導が少し少ないように感じます。クラスのお便りもないので何をやっているのかわからないことが多いです。九九カードは子どもが自発的にやらなければいけなかったのでしょうか、私も仕事に追われて見れていなかった部分がありますが、認識したのは配布されてから約1ヶ月後でした。子どもがしっかり聞いてこない限り私は認識できず、声をかけることもできないのでもう少し発信してほしいと思います。置いていかれそうで心配です。</p>
保護者コメント	<p>・たまに学校に行く機会がありますが、元気に挨拶してくれる児童に会うことがあります。娘も買い物の際に店員さんにありがとうございます、と言います。家庭だけでなく、学校がきちんと挨拶を大切にしているからこそ、子どもも自然と習慣となっているのだと感じます。特に担任の先生は優しさ、厳しさ、暖かさがあり、卒業した生徒からの信頼もあり、学校生活に何の心配もありません。小学校が良い所で、子ども達を安心して通わせる事が出来ている事自体、本当にありがたく、生徒達を支え導いて下さる先生方、職員の方々には深く感謝しています。</p> <p>・私自身の小学校時代を思い起こすと、結構ひどかったの（自身も周りも）、それに比べたら全方位にわたってうまくこなしているように思います。瞬発的にいい成果を出すことよりも、地味にでも数十年にわたってコツコツと成長を続けていき、変化に対応して欲しいと思います。</p> <p>・わが家では音楽朝会で歌っている歌などを兄妹でよく歌っています。家庭でも歌声響いています。私も一緒に歌っています。歌や音楽が自然と出ることが身に付いていて嬉しいです。</p>

学校からのコメント

・良い点は更に高め、至らない点は改善するよう努力してまいります。